

患者さんへ

疫学研究「院外心停止患者における来院時血中二酸化炭素分圧と転帰についての検討」についての説明文書

1. この疫学研究の目的

心停止患者の血中酸素分圧と二酸化炭素分圧は心肺蘇生の質を反映すると言われていています。心肺蘇生中の血中酸素分圧高値は生存入院率を高めるという報告がありますが、二酸化炭素分圧についての検討は数少なく、神経学的転帰の関連は明らかではありません。そこで今回、院外心停止患者で来院時採血における二酸化炭素分圧と神経学的転帰について検討します。

2. 疫学研究実施期間

2021年4月から2022年12月

3. 疫学研究に参加していただく対象患者さん

2015年1月から2020年12月までに当センターに入院した院外心停止の症例のうち、血液ガスが測定されていた症例

4. 疫学研究の方法について

電子カルテを用いて調査します。

年齢、性別、心停止時の目撃の有無、bystander CPRの有無、病院前での治療(アドレナリン投与、経口気管挿管、除細動)、心停止から病院到着までの時間、心停止から初回採血までの時間、初回採血の血液ガス(PH、二酸化炭素分圧、酸素分圧、BE、HCO₃、K、Lac)所見、心停止の原因、生存率、神経学的転帰などを検討します。

5. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

なお、疫学研究の途中で同意を取り消された場合でも、現時点で考えられる最善の治療を行いますので、あなたにとって何ら不利益を受けることはありません。

6. あなたの権利・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報

録しません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。施設内の個人情報管理者が、厳重に元データを保管・管理しております。ご心配な点がありましたら、下記責任者までお問い合わせください。

7. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するものですので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

8. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

9. この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

氏名; 井上 明彦 (救急部副部長) 連絡先;078-241-3131